



2025年5月15日

各 位

会社名 東鉄工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 前川 忠生
(コード番号 1835 東証プライム)
問合せ先 経営企画本部広報・IR部長 藤井 剛
(TEL. 03-5369-7611)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2025年5月15日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、中長期的な企業価値向上と持続的な成長を実現するべく、現状を分析・評価し、改善に向けた具体的な取り組み方針をアップデートいたしましたので、お知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」をご参照ください。

以 上



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

 **東鉄工業株式会社**

2025年5月



資本コストとROE、市場評価の現状分析

※青文字下線部分は前回開示からの主な更新内容

現状認識

- ✓ 当社の資本コストは過去5～6%台を推移しており、**現状は約6%程度と認識**
- ✓ ROEはコロナ禍で22/3期に大きく落ち込むものの、**資本収益性改善の取組みにより上昇傾向にある**
- ✓ PERは直近9倍程度であり、**業界平均と比較して低い市場評価と認識している**
- ✓ PBRは直近1倍程度で推移、**長期ビジョンの着実な実行により、更なる企業価値向上を実現していく**

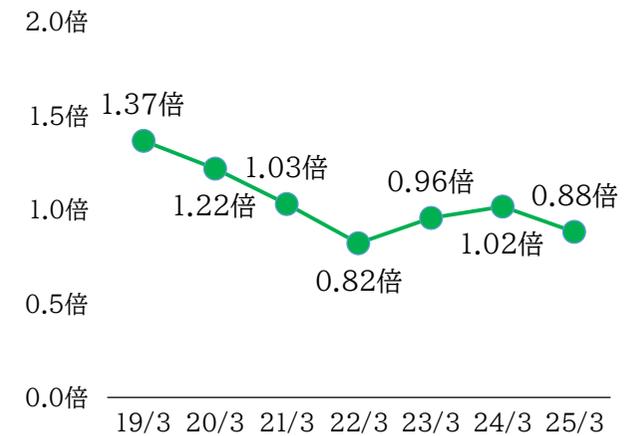
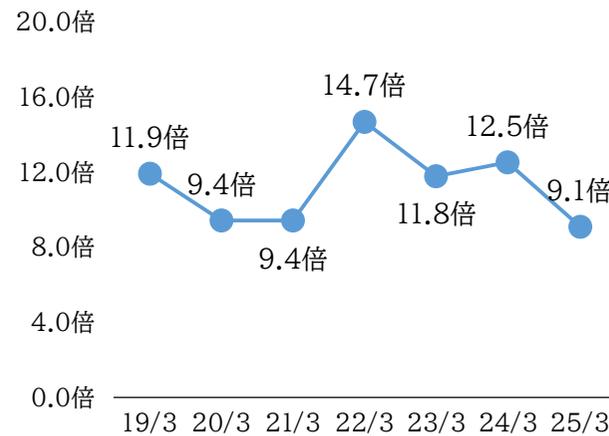
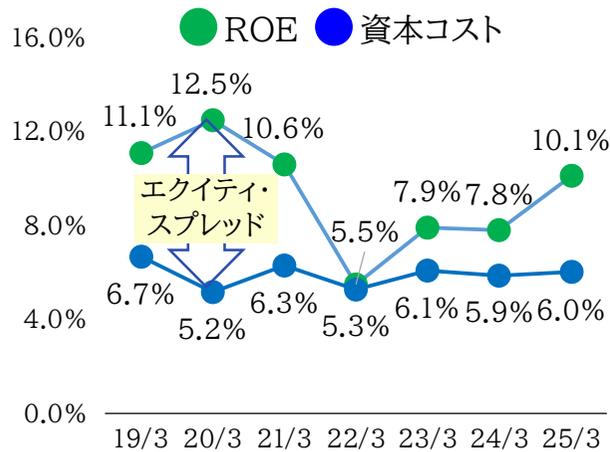
ROEと資本コストの推移



PER推移(期末)



PBRの推移(期末)



リスクフリーレート	<u>1.47%</u>	期末での国債10年利回りより設定
ベータ(β)値	<u>0.77</u>	当社固有のリスク値
マーケットリスクプレミアム	<u>7.37%</u>	過去の株式市場のリターンより設定

2024年度
資本コストは約6%



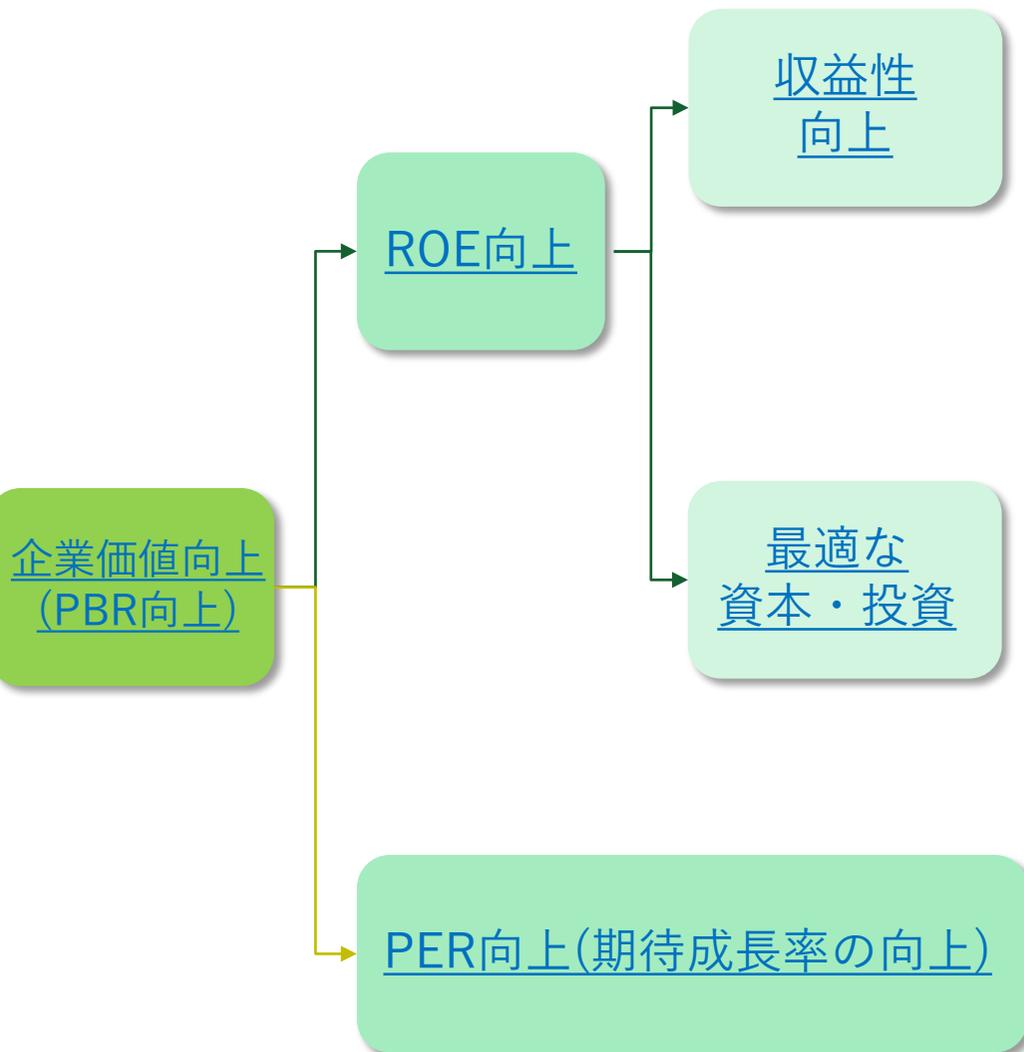
企業価値向上に向けた方針と取組み

改善方針と主な取組み

ROEの向上	資本コストを恒常的に上回る資本収益性の達成を意識
「アクションプラン2029」 目標達成	長期ビジョンの達成に向けた「アクションプラン2029」の着実な推進と、数値目標の達成を目指す
重点施策	3つの重点事業領域「JR東日本、公営・民間鉄道会社」「鉄道関連分野」「公共事業体・民間事業者」への展開強化、東鉄工業グループ会社との「一体経営」、協力会社との「共存共栄」による「三位一体経営」の強化 等、各施策の着実な実施
成長投資	人的投資(施工キャパシティの最適化)、技術開発・機械化投資(新幹線大規模改修など)、 安全投資 ・システム投資による生産性向上、CO2削減に向けた環境投資の推進
数値目標	市場から期待される水準を意識し、29/3期の目標を修正、売上高1,900億円以上、ROE10%以上の維持・向上を図りつつ、ESG経営強化の観点から非財務KPIの目標達成に注力
株主還元強化	配当総額をDOE3%以上に設定し、累進配当とすることで、株主還元の一層の強化を図る



企業価値向上に向けた方針と取組み



成長ストーリーの発信

「アクションプラン2029」の推進

3つの重点事業領域への展開強化

- ①JR東日本および公営・民間鉄道
- ②鉄道関連分野
- ③公共事業体・民間事業者

三位一体経営による施工体制強化

- ①東鉄工業グループ会社との「一体経営」
- ②協力会社との「共存共栄」

持続的成長への投資と生産性向上

人的投資200億円、技術開発・機械化投資500億円

株主還元の強化

DOE 3%以上、累進配当

IR活動の強化

- ①資本市場との対話の充実
- ②施設見学会開催など企業理解の深度化
- ③情報開示の充実
(統合報告書、Webサイト等)

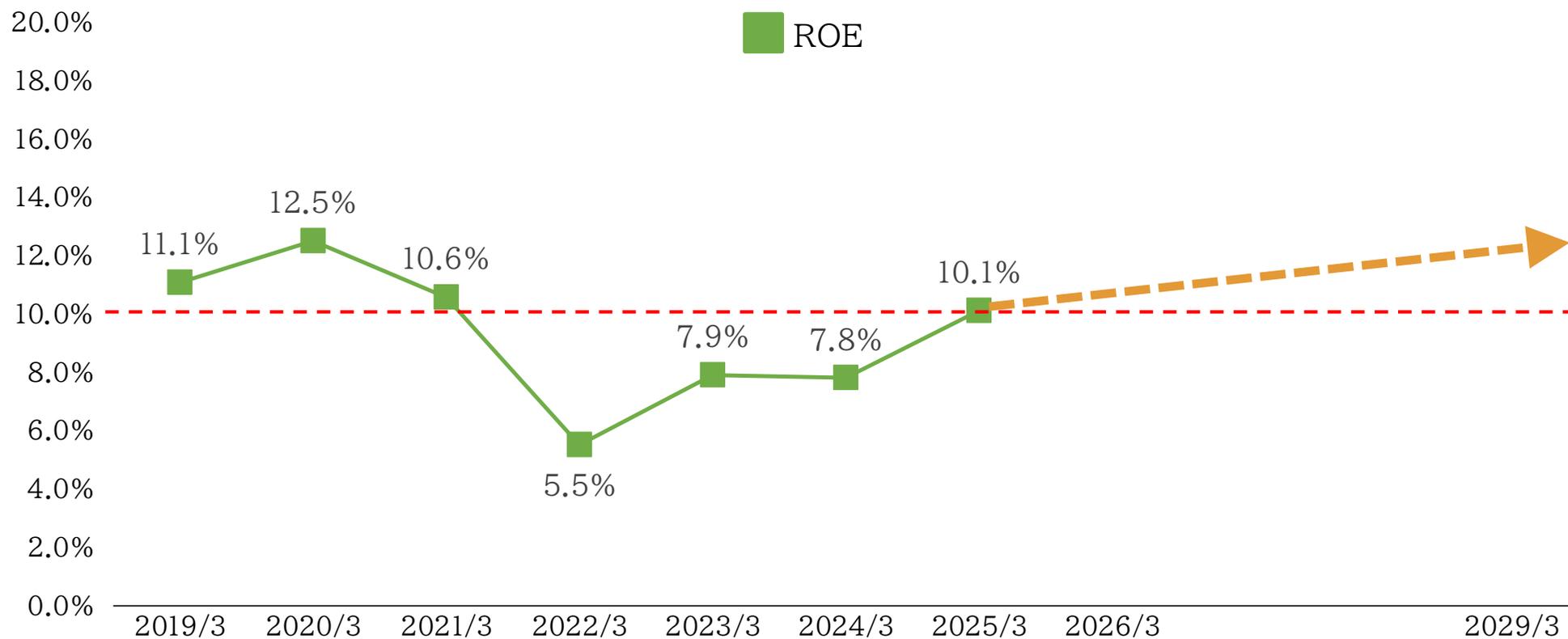


「アクションプラン2029」のROE目標

中長期的に10%以上の維持・向上を目指す

「アクションプラン2029」の重点施策による収益力を強化

資本収益性を意識し、継続的に資本コストを上回る経営を実践



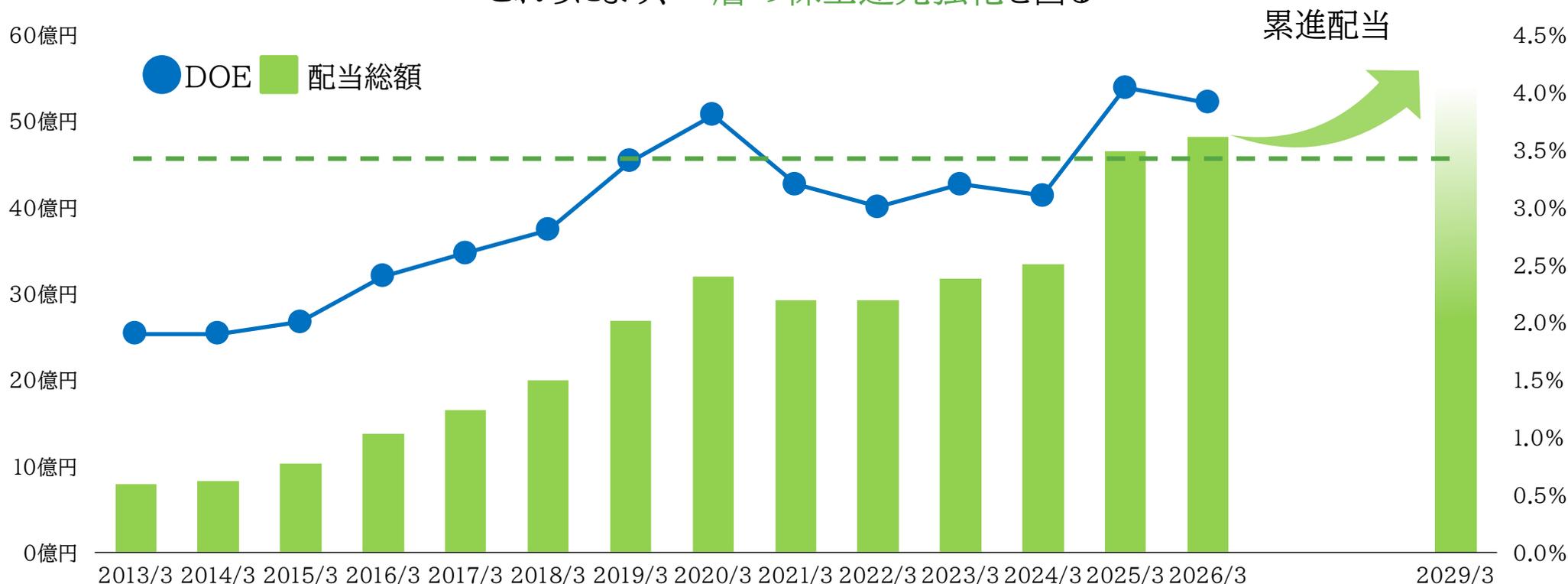


株主還元方針

業績に左右されずに積極的かつ安定的な株主還元を継続するため、新たな株主還元指標を設定

配当総額目標	累進配当を導入
DOE3%以上	資本収益性を意識し、継続的に資本コストを上回る経営の実践

これらにより、一層の株主還元強化を図る





市場評価の向上

投資家との対話の充実

- 当社企業理解の深度化を図るべく、IR活動を積極的に展開
- 投資家の要請に応じて、当社の持続的成長と企業価値向上の基軸となる
- 長期ビジョンや中期経営計画の説明会に社長を含む経営陣、社外取締役が出席

活動	回数／参加企業数／参加者数			
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度

【社長が対応】

決算説明会	2回／76名	2回／74名	2回／109名	2回／114名
個人投資家向けIR説明会	コロナ禍で未開催	91名	112名	119名

【社長および社外取締役が対応】

スモールミーティング	6社	6社	6社	5社
施設見学会	コロナ禍で未開催	7社／9名	6社／10名	14社／20名

【広報・IR担当が対応】

個別IR取材	49社／66名	75社／110名	83社／135名	121社／156名
--------	---------	----------	----------	-----------